

- 2 エッセイ／“おかね”を語る
懸賞金一万円 作家 門井慶喜



- 4 インタビュー／扉を開く
室伏広治 陸上男子ハンマー投げ元日本代表選手
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会スポーツディレクター
世界の壁を超える力



歴代日本銀行総裁小史～Short History～ 第3回

- 10 第三代総裁 川田小一郎
12 第四代総裁 岩崎彌之助

日本銀行のレポートから

- 14 「経済・物価情勢の展望」(展望レポート) —2020年4月—
16 「金融システムレポート」—2020年4月—



- 20 FOCUS → BOJ ③ 日本銀行本店見学
本店の新しい見学コースをご紹介します

- 25 トピックス
新型コロナウイルス感染症に関連した
日本銀行の取り組みについて ほか



- 27 AIR MAIL from Paris
為政者と民衆の思いが交錯するまち・パリ

※本誌は6月3日(水)までの情報をもとに掲載しています。

表紙のことば

日本銀行北九州支店は、明治二十六年（二八九三）十月に開設された西部支店を前身としています。支店として開設され現存する中では、大阪支店に次ぐ長い歴史を持っています（初代西部支店長は、後に日本銀行総裁、内閣総理大臣となる高橋是清です）。

前身の西部支店は、大正六年（一九一七）に門司支店と改称しました。最初の店舗は、昭和二十年（一九四五）、空襲により、本館が全焼しました。翌日からは焼け残った金庫と公文庫を活かしつつ、市中の銀行内に仮店舗を設け、営業を続けました。

昭和二十三年（一九四八）には門司事務所に改組され、翌二十四年（一九四九）に二代目の店舗が落成しました。

その後、昭和三十八年（一九六三）に「北九州支店」となりました。三代目となる表紙の現店舗は、昭和三十九年（一九六四）、北九州市の金融・商業の中心地である小倉区（現在の小倉北区紺屋町）に新築移転したものです。現店舗は、北九州の街とともに歩んでいます。



表紙・画 北村公司